

新年度のご挨拶

桜花の候、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

4月は当院恒例の人事異動の時期でもあります。気心の知れたスタッフとの別れは切なくもありますが、新たに赴任されるスタッフとの交流を大変楽しみにしている自分がいることも事実です。



人が入れ替わっても、安芸津病院の使命が、患者様のために全力を尽くす点に変わりはありません。今年度も、地域の皆様の健康長寿のため、貢献していく所存であります。

引き続き、安芸津病院をご活用いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



院長 後藤 俊彦

人事異動のお知らせ

4月1日付けで新しく17名のスタッフが着任いたしました。新体制の下で、引き続き「地域に密着した病院」を目指してまいりますので、今後とも県立安芸津病院をよろしくお願いいたします。

所 属	職 名	氏 名	前 所 属
消化器内科	主任部長	神垣 充宏	採用(済生会呉病院)
内視鏡内科	部 長	大西 真由	採用(三次地区医療センター)
整形外科	部 長	吉岡 紘輝	採用(自治医科大学付属さいたま医療センター)
	医 長	笹井 俊哉	採用(呉医療センター)
看護部3階病棟	看護専門員	助宮 幸子	県立広島病院
	主 任	上田 歩	県立広島病院
	技 師	堀 萌乃	県立広島病院
看護部4階病棟	看護専門員	吉田 静	県立広島病院
	技 師	木下 航輔	県立広島病院
放射線科	技 師	棟居 浩尚	県立広島病院
	技 師	濱崎 遼人	新規採用
臨床検査科	主 任	中田 麻衣子	県立広島病院
	主 任	別府 凌成	県立広島病院
薬剤科	技 師	星野 鈴花	新規採用
リハビリテーション科	主 任	田谷 勇哉	県立広島病院
	技 師	池尾 諒真	新規採用
総務課	主 任	西本 洋介	新規採用

新任医師紹介



2026年4月より赴任致しました、神垣充宏と申します。呉市出身で、鹿児島大学を卒業後、鹿児島大学病院、小文字病院、九州循環器病センター、鹿児島市医師会病院、広島赤十字・原爆病院、広島大学病院、三菱三原病院で修行させて頂きました。直近では済生会呉病院で11年間お世話になり、胆嚢、脾臓を中心とした消化器や一般内科の診療、また、人間ドック健診などを学ばせて頂きました。

地域の皆様や職員の皆様のお役に立てますよう、努力させて頂く所存です。よろしくお願い致します。

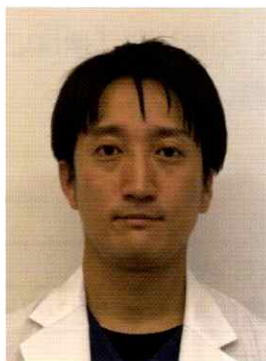
消化器内科 主任部長 神垣 充宏



2026年4月より県立安芸津病院内科に赴任いたしました、大西真由と申します。広島出身で、広島大学を卒業後、研修を積み、3月までは三次地区医療センターにて勤務しておりました。専門は消化器ですが、三次では高齢者の診療に携わる事が多く、疾患だけでは無い様々な問題にスタッフと共に取り組んでおりました。

内科全般の診療、地域医療に貢献できるよう精一杯努めて参りたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

内視鏡内科 部長 大西 真由



2026年4月より赴任しました、吉岡紘輝と申します。福山市出身で徳島大学を平成27年に卒業し、県立広島病院、市立三次中央病院、呉医療センター、広島大学病院で整形外科として勤務し、2026年3月までの半年間は自治医科大学付属さいたま医療センターで骨盤や後腹膜の悪性骨軟部腫瘍の勉強をしておりました。

外傷や変性疾患の診療についても、一般整形外科での診療経験を活かして少しでも質の高い医療を提供できるように頑張ります。よろしくお願い申し上げます。

整形外科 部長 吉岡 紘輝



4月より整形外科配属となりました笹井俊哉と申します。広島大学を卒業し、呉医療センターで4年勤務しておりました。これまでは外傷から慢性期疾患まで幅広く診察・治療しておりました。今後は地域の皆様が安心して生活を送れるよう、怪我の診察だけではなく、腰痛や関節痛など身近な症状についても気軽にご相談いただける存在を目指してまいります。

患者様に安心して頂ける診療を心がけ、地域に信頼される医師になれるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

整形外科 医長 笹井 俊哉

診療日変更のお知らせ

4月から次の診療科の診察日が変更となりました。ご理解の程よろしくお願いいたします。



＜変更前＞

＜変更後＞

内科（糖尿病）	毎月 第3水曜日	→	毎月 第1木曜日・第3水曜日【要予約】
内科（肝臓）	毎週 水曜日	→	毎月 第1金曜日・第3火曜日【要予約】
泌尿器科	毎週 月曜日	→	毎週 火曜日【要予約】

総務課医療経営G

受けていますか「健康診断」

当院では様々な種類の健康診断を行っています。病気の早期発見・早期治療のためには、定期的な健診で自分の健康状態がどのように変化しているかを知ることが大切です。ご自身の明日の健康を守るためにも定期的な健診をお勧めします。健診を受けられる際は、ぜひ当院をご利用ください。

＜当院の健診（検診）メニューのご紹介＞※事前に予約が必要です。



○元気すこやか健診（東広島市が実施する東広島市民の方を対象とした健診）

○がん検診（乳がん、子宮頸がん、胃がん、大腸がん、前立腺がん、肺がん）

各市町の助成が受けられる場合があります。各市町又は当院までお問い合わせください。

○協会けんぽ健診（協会けんぽ加入者本人が対象の「生活習慣病予防健診」、協会けんぽ加入者の家族の方が対象の「特定健康診査」）

令和8年4月から「節目健診」、「一般健診（若年）」、「骨粗鬆症検診」が追加されました。

※協会けんぽの補助を利用した「人間ドック検診」は、当院では受託しておりません。

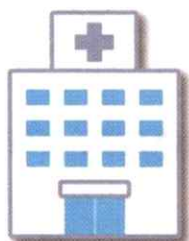
○特定健康診査（糖尿病等の生活習慣病の重症化や予防を目的としたメタボリックシンドロームに関する健診）

○そのほか、人間ドック（個人型、法人・団体契約型）、企業健診（雇入時健康診断、定期健康診断）、被爆者健診、被爆二世健診など

病院建替えの進捗状況

現在、当院の建替えの計画が進められています。建物の耐震性不足や施設の老朽化が進んでいることから、当院の隣地で駐車場となっています東広島市の所有地に新築棟を建設し、令和11年度中に開院する予定です。（現在の新棟部分は一部を改修して管理部門が入居し、旧棟部分は解体します。）

今年2月には建築設計を行う業者が決定し、現在、基本設計の策定段階に入っており、建設予定地の地質調査並びに現地測量も行われています。



基本設計策定後は実施設計に移り、令和9年度中には新築棟の建設工事に着手する計画となっています。新しく生まれ変わる「県立安芸津病院」を心待ちにしているだけで、これまでと同様、当院の理念であります『地域の皆様の健康と暮らしを支える』病院として尽力してまいりますので、引き続き、御支援・御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

副院長（兼）事務長 白井 和之



訪問診療・訪問看護のご案内



当院では患者様・ご家族が安心して在宅での療養ができるよう、訪問診療・訪問看護の体制を整えています。

訪問診療は、診察を定期的に受ける必要があるけれど通院が難しい方に対して、医師と看護師がご自宅までお伺いし、診療を行います。訪問診療の内容は、診察、処方および服薬指導、血液検査（必要時）、点滴（必要時）、医療処置（傷や褥瘡の処置等）となります。



訪問看護は、看護師が定期的にご自宅へお伺いし、看護ケアを提供します。対象者は当院の主治医より指示書があり、月 1 回の受診または訪問診療が可能な方となります。訪問看護の内容は、症状観察、清潔援助、服薬管理、点滴、カテーテル管理等の状態に応じたケアを行います。状態に変化がある場合は、主治医と連携し対応させていただきます。

また、ご家族への療養上の指導、相談等のご家族に対する支援も行います。平成 27 年 10 月から在宅看取りができるよう、対象者に対し 24 時間対応できる体制も整備しています。患者様の「住み慣れた自宅で、自分らしく暮らしたい」という思いを支えるために、医師・訪問看護師がお手伝いさせていただきます。

訪問診療・訪問看護についてご相談等がありましたら、訪問看護師、外来看護師、病棟看護師、地域医療連携室スタッフに遠慮なくご相談ください。



訪問看護

副看護師長 田川 和恵

看護専門員 西村 麻里子

看護専門員 安井 裕子



編集後記



風にたなびく若葉が目眩しく、清々しい季節を迎えました。新年度の慌たしさも一段落し、皆様ようやく新しい生活のリズムが整ってきた頃でしょうか。

今月号では、新体制のご報告をはじめ、病院建替えの進捗状況や健康診断、さらには訪問診療・看護といった当院の取り組みをご紹介いたしました。地域に根ざす当院の「今」を、少しでも身近に感じていただければ幸いです。



季節の変わり目は、知らず知らずのうちに心身の疲れが溜まりやすい時期でもあります。小規模病院だからこそできる「対話を大切に顔の見える医療・看護」を旗印に、スタッフ一同、五月の風のように爽やかに、皆様の心に寄り添う姿勢を大切に実践してまいりたいと思います。

体調に少しでも不安を感じた際は、どうぞ無理をなさらず、お気軽にご相談ください。

副院長（兼）看護部長 胡 美恵

